

## 編 集 後 記

新年度を迎えました。例年ですと、意気軒昂なフレッシュマンを温かく迎える首都圏の桜も3月末には散る異常気象で、替わりは初夏を思わせる高温と入社式での経営からの熱く厳しいメッセージという洗礼だったのではないかと思います。

新年度は社会人にとって節目ですが、日本社会の周辺環境はといえば、いまだ負債処理の進めぬ金融業界に国債の格付も終に先進国最後尾へ、また全産業大の構造不況と、キャッシュフロー経営に分社化・リストラは加速し、会社員に内戦のサバイバルゲームは不可避の状況です。

バブル前後でも、ほとんどの会社員は変らず組織へ忠実にその職責を果たしてきたのですが、インターネットを介したグローバル化とアメリカ型経営手法の普及・加速には対抗できるはずもなく、会社・国家の経営マネジメン

ト・戦略がなくしては、いかに優秀な社員・国民でも生き抜くことは難しい状況です。国会の秘書給と疑惑空転、大手3行統合のメガバンクシステムダウンといった信じ難い事実を目の当たりにすれば、今後の行く末に不安を感じざるを得ません。

資源無き日本が唯一誇る国際競争力は国民の資質であり、伝統文化或いは異文化を許容・吸収・加工する知恵こそが今後の日本を支えるリソースではないでしょうか。

そういった意味では、今月号も建設の機械化に関する各分野で知恵を駆使し、施工の合理化を図った報文を頂戴しましたが、この不断の努力こそが少なからず国家・社会・企業の推進力となるとともに、後輩への良き刺激となることを切に望むものです。

ご多忙の中、ご執筆いただいた執筆者の方々に敬意を表するとともにお礼申し上げます。(吉村・金津)

### 次 号 予 告

#### 特集 多様化するニーズに対応する建設機械とアタッチメント

多様化する建設機械の中のアタッチメント

油圧ショベルにおけるアタッチメントツール装着への対応—ツールコントロールシステムの開発—

クライミングクレーン用のアタッチメントの開発

オールケーシング工法用万能掘削機—スカイチャッキングドリル—

廃木材リサイクルのための木質系粉砕機—ブラッシュチップパ、スーパーシュレッダ、タブグラインダー—

ロータリ除雪車の操舵支援技術に関する研究開発

油圧ショベルのワンレバー式操縦システムの開発

フォークリフト—ACROBA シリーズの開発—

多目的作業車—通年使用によるトータルコストの削減—

回転羽根分別式海岸清掃車の開発—ビーチクリーナー—

## 機 関 誌 編 集 委 員 会

### 編集顧問

浅井新一郎	石川 正夫
今岡 亮司	上東 公民
岡崎 治義	加納研之助
桑垣 悦夫	後藤 勇
新開 節治	高田 邦彦
田中 康之	田中 康順
塚原 重美	寺島 旭
中岡 智信	中島 英輔
中野 俊次	本田 宜史
両角 常美	渡辺 和夫

### 編集委員長

橋元 和男

### 編集委員

久保 和幸	国土交通省
山口 修一	国土交通省
池田 哲郎	国土交通省
窪 豊則	農林水産省
江藤 祐昭	原子力安全保安院
本多 明	日本鉄道建設公団
軍記 伸一	日本道路公団
門田 誠治	首都高速道路公団
坂本 光重	本州四国連絡橋公団
山崎 劭	水資源開発公団
高村 和典	日本下水道事業団
吉村 豊	電源開発
渡辺 博明	大林組
百瀬 千磨	鹿島
橋本 弘章	川崎重工業
岩本雄二郎	熊谷組
矢仲徹太郎	コベルコ建機
金津 守	コマツ
奥山 信博	清水建設
山口喜久一郎	新キョビラー三菱
荒井 政男	大成建設
星野 春夫	竹中工務店
加藤 謙	東亜建設工業
境 寿彦	日本国土開発
斉藤 徹	日本舗道
館岡 潤仁	ハザマ
緒方浩二郎	日立建機

No.627 「建設の機械化」  
2002年5月号

(定価) 1部840円(本体800円)  
年間購読料9,000円

平成14年5月20日印刷

平成14年5月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 玉光弘明

印刷所 株式会社技報堂

発行所 社団法人日本建設機械化協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話 (03) 3433-1501; FAX (03) 3432-0289; <http://www.jcmanet.or.jp/>

建設機械化研究所—〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154

電話 (0545) 35-0212

北海道支部—〒060-0003 札幌市中央区北三条西 2-8

電話 (011) 231-4428

東北支部—〒980-0802 仙台市青葉区二日町 16-1

電話 (022) 222-3915

北陸支部—〒951-8131 新潟市白山浦 1-614-5

電話 (025) 232-0160

中部支部—〒460-0008 名古屋市中区栄 4-3-26

電話 (052) 241-2394

関西支部—〒540-0012 大阪市中央区谷町 1-3-27

電話 (06) 6941-8845

中国支部—〒730-0013 広島市中区八丁堀 12-22

電話 (082) 221-6841

四国支部—〒760-0066 高松市福岡町 3-11-22

電話 (087) 821-8074

九州支部—〒810-0041 福岡市中央区大名 1-12-56

電話 (092) 741-9380